

世帯と人口

(41.3.1日現在)

面積	30.55平方町
人口総数	54,864人
男	28,110人
女	26,754人
世帯数	12,123世帯
転入	457人
出生	89人
婚姻	44
死産	10
転出	452人
死亡	27人
離婚	0

全世界帯に配布

この広報紙は町内自治会を通じ市内の全世界帯にもれなく配布されております。皆さんのお宅に届かないときは部落の区長または市広報係までお申し出ください。



脚光を浴びる田子の浦港

国際貿易港として4月1日からスタート

田子の浦港は、いよいよ4月1日から国際貿易港としてスタートすることになりました。同港は、駿河湾に流入する沼川を切り開いてつくった瓶込式人造港としては、全国でも珍しい港であるといわれています。すでにこの港には、ノルウェーを始めソ連、韓国、アルゼンチン、アメリカなどの

外国船が入港しており今後は更に国際色豊かな田子の浦港として清水港につぐ良港になる日も近い。また、4月7日には国際貿易港の開港を記念して、鈴木埠頭で県や吉原、富士の関係者多数をむかえ開港祝賀式を行ないました。

(写真・賑う田子の浦港)



市税収入

六億四千万円

まず漆畑市長は、第一日の本会議席上、約四十分間にわたって四十一年度の施政方針の大綱を次のとおり述べました。

▽昭和三十七年五月、市長就任以来、四年、市議会をはじめ市民各位の市政執行についてのご協力を

まず漆畑市長は、第一日の本会議席上、約四十分間にわたって四十一年度の施政方針の大綱を次のとおり述べました。▽昭和三十七年五月、市長就任以来、四年、市議会をはじめ市民各位の市政執行についてのご協力を

公共投資の拡大はかる

一般会計 総額で十七億三千万円

新年度の予算市議会終る

新年度予算をきめる三月定例会は、九日から十九日まで会期十一日間にわたって開き慎重審議を行ない昭和四十一年度一般会計および特別会計予算など二十三件が原案どおり可決、成立しました。

▽新年度の財政運営は極めて困難が予測されるが、消費的経費を極力削減し公共投資の拡大をはかる。▽財政規模を従前に拡大し健全財政を堅持しつつ積極予算の編成につとめる。 (写真・漆畑市長)

心から感謝する。▽任期の関係もあるが諸般の情勢上、あえて年間予算を編成し

歳入

まず市税収入は、歳入総額の五十二・四%を占め、前年度当初額より八千七百

宿願の加島踏切り

地下道などを建設

歳出

その他、寄附金の三千六百一十一万円をはじめ繰越金や諸収入、市債などはいづれも各種の重要事業を執行していくための財源にあてられています。千八百九十九万円が計上されています。北保育園の開園による職員増員など。衛生費 七千三百三十四千円(二千七百五十四千円増)。土木費 二億二千九百二十九万二千円(五千六百七十七万二千円増)。

この重点事業

道路交通行政推進

- ◇新年度予算に計上した市政の重点事業はつぎのとおりです。
- ◇産業基盤の整備事業
- (イ) 富士川用排水土地改良事業
- (ロ) 田子浦港整備事業
- ◇道路交通行政の積極的推進
- (イ) 市道の舗装、改良、幹線道路の築造
- (ロ) 加島踏切地下道設置
- (ハ) 交通安全対策の推進
- (ニ) 環境整備事業
- (イ) 富士駅周辺土地区画

- ◇整理事業
- (イ) 下水道事業
- (ロ) 上水道第二次拡張事業
- ◇文教施設の整備充実
- (イ) 第一小学校改築
- (ロ) 田子浦学区プール新設等
- ◇住宅行政の推進
- (イ) 公営住宅の建設
- (ロ) 住宅団地の造成と分譲
- ◇建築住宅課の新設
- (イ) 岳南二市一町合併の促進

昭和41年度一般会計歳入歳出予算

歳入				歳出			
款	本年	前年度	比較	款	本年	前年度	比較
1 市税	638,828	551,774	87,054	1 議会費	24,775	23,902	1,473
2 地方譲与税	1,000	0	1,000	2 総務費	147,917	155,070	△ 12,847
3 臨時地方特例交付金	1,000	0	1,000	9 民生費	157,491	221,298	△ 63,807
4 地方交付税	2,000	2,000	0	4 衛生費	70,934	52,794	17,540
5 分担金及び負担金	720	4,025	△ 3,905	5 労働費	2,948	2,136	212
6 使用料及び手数料	23,657	12,951	10,706	7 農林水産費	49,969	51,712	△ 1,743
7 国庫支出金	132,684	107,167	25,517	6 商工費	22,292	27,964	△ 5,672
8 県支出金	14,494	14,298	196	8 土木費	445,727	323,720	122,007
9 財産収入	105,589	58,878	46,711	9 消防費	31,759	21,115	10,638
10 寄附金	36,111	61,751	△ 25,640	10 教育費	160,090	198,699	△ 21,997
11 繰越金	10,000	18,000	△ 8,000	11 災害復旧費	5	5	0
12 諸収入	68,477	43,888	24,589	12 公債費	98,621	75,097	23,524
13 市債	185,000	199,800	△ 14,800	13 諸支出金	6,678	1,974	5,304
(繰入金)	0	808	△ 808	14 予備費	1,500	1,000	500
歳入合計	1,219,500	1,075,280	144,220	歳出合計	1,219,500	1,075,280	144,220

住宅の建設は三十戸が予定されています。消防費 三千七百七十五万三千円(二千六十三万八千円増)。消防防力強化のため七百八万円を予算化し化学消防車一台を購入します。教育費 一億六千九百九十九万九千九百九十九円(前年度に比べ二千三百三十九万七千円増)。これは第一小学校改築第二期工事費五千二百五十万円および田子浦学区プール築造費として六百五十万円が措置されています。なお、災害復旧費以下につきましては、格別これについて取上げる点もないので以下省略します。